

第5期米沢市水道事業中期経営計画 事業実施状況

○:実施した
△:一部実施
×:実施せず

基本施策		事業名・事業概要		新規継続	実施予定時期	令和6年度実施状況	令和6年度実施内容
安全	① 水質管理体制の強化	ア 水安全計画の策定	水安全計画に基づき、信頼性(安全性)の高い水道水を供給していきます。	継続	R4～	○	令和2年度に策定した水安全計画について適正に運用した。
		イ 水質検査計画の策定・公表	毎年度水質検査計画を策定し公表するとともに、水質検査結果も毎月公表します。	継続	R4～	○	水質検査計画を公表し、水質検査計画を公表した。
	② 良質な水の追求	ア 鉛製給水管交換	宅地内の鉛製給水管を新しい給水管に交換します。	継続	R4～	○	計量法に基づく量水器の交換時に、77件の交換を行った。
		イ 貯水槽水道設置者への指導・助言	安全な水が給水されるよう、貯水槽水道の設置者に対し指導・助言を行います。	継続	R4～	○	簡易専用水道検査結果報告に基づき、指導助言を行った。
	③ 非常用水源(地下水)の保全	ア 非常用水源の点検・整備	非常用水源として、地下水源の点検・整備を行います。	継続	R4～	○	非常用水源として、成島及び南原の地下水源の水質検査及び点検を行うとともに、新たに大字芳泉町に新設するため、実施設計業務を行った。
強靱	④ 管路の耐震化	ア 重要管路の耐震化	米沢市地域防災計画による災害拠点・病院・避難所等に供給する重要管路について、重要施設耐震化事業計画に基づき、配水管の耐震化を図ります。	継続	R4～	○	重要管路の耐震化を実施した。L=904m
		イ 基幹管路の耐震化	上記アに合わせて、基幹管路の耐震化を図ります。	新規	R4～	○	基幹管路の耐震化を実施した。L=2448m
	⑤ 水道施設の計画的更新(耐震化)	ア アセットマネジメントに基づく計画的な水道施設の更新	アセットマネジメントを実施し、老朽施設(管路を含む。)の計画的な更新を図ります。	継続	R4～	○	アセットマネジメント(2021改定版)の本市更新基準に基づき、計画的に老朽管の更新を実施した。
		イ 水道施設の耐震性評価・耐震化計画の策定	配水池など水道施設の耐震診断を行い、耐震化計画を策定し、耐震化を図ります。	継続	R4～	○	平成29年度に館山配水池及び小野川配水池の簡易耐震診断を実施済み。
		ウ 館山配水池の更新	老朽化した館山配水池を更新します。(※⑦イ館山配水区受水施設整備に合わせて更新します。)	継続	R4～	○	令和3年度に実施設計を行い、令和4年度に館山配水区受水施設整備赤芝配水池及び赤芝送水ポンプ場築造工事を発注した。(工期:令和4年度～令和7年度)
	⑥ 応急体制の強化	ア 各種マニュアルの整備(見直し)	水質汚染事故、地震、渇水等に備え、対応マニュアルを随時見直します。	継続	R4～	○	令和3年度に見直しを行った他、災害時の応援要請・受入れについて具体的に見直しを行った。
イ マニュアルに沿った訓練の実施		災害時に適切な応急復旧・給水を行うため各種マニュアルに沿った訓練を実施します。	継続	R4～	○	災害時に適切な対応ができるよう日本水道協会東北地方支部主催の合同訓練等に参加する等、各種マニュアルに沿った訓練を実施した。	
持続	⑦ 施設規模の適正化	ア 配水計画の随時(適時)見直し	水需要等の予測を適切に行い、必要に応じて配水計画を随時(適時)見直します。	継続	R4～	○	新館山受水施設の実実施設計業務の発注を行い、新たな配水計画の見直しを行った。
		イ 館山配水区受水施設整備	県笹野浄水場から館山配水区への受水施設を整備します。	継続	R4～R8	○	令和3年度に実施設計を行い、令和4年度に館山配水区受水施設整備赤芝配水池及び赤芝送水ポンプ場築造工事を発注した。(工期:令和4年度～令和7年度)
	⑧ 事業経営の効率化	ア 民間委託の推進	水道施設運転管理業務や水道料金等収納業務の民間委託を継続するほか、民間委託の対象となる業務の拡大や見直しを行います。	継続	R4～	○	水道施設運転管理業務について、単年度契約を締結している。また、水道料金等収入業務について、令和2年度から3年間の事業評価を行い、新たに令和5年度から3年間の長期継続契約を締結している。
		イ 簡易水道事業経営のあり方の検討	独立採算が難しい白布高湯簡易水道事業及び板谷簡易水道事業のあり方を検討します。	継続	R4～	△	検討を継続した。
ウ 置賜圏域における広域化の調査・検討		置賜圏域における水道事業の広域化について調査・検討を行います。	継続	R4～	○	県が主催する置賜圏域水道事業広域連携検討会において、県内の広域連携の取組状況等について意見交換、情報共有を行った。	
⑨ 職員研修の充実	ア 各種研修への参加	水道事業における専門的知識や技術の習得のため各種研修会に参加します。	継続	R4～	○	業務を遂行するうえで必要となる専門的知識や技術の習得のため、各種研修に参加した。	

第5期米沢市水道事業中期経営計画 事業実施状況

○:実施した
△:一部実施
×:実施せず

基本施策		事業名・事業概要		新規 継続	実施予定 時期	令和6年度 実施状況	令和6年度実施内容
持 続	⑩ 水道料金の適正化	ア 適正な水道料金の算定	令和6年度以降の水道料金について新たな料金算定期間を設定し、事業運営に見合った料金を算定します。	継続	R5	○	水道用水料金改正が予定されていること、財政見通し、物価高騰等の市民生活への影響等を勘案して、料金改定の検討、情報収集を継続した。
		イ 料金体系の検討	現在採用している逡増型料金体系を検証し、今後の料金体系について検討します。	継続	R4～	○	長期(10年間)の財政収支見通しを踏まえて、収支の検証を行った。
	⑪ 料金収納率の向上	ア 債権管理の強化	収納率の向上を図るため、債権管理を適切に行います。	継続	R4～	○	適切な債権管理に努めた。収納率95.41%。
	⑫ お客さまサービスの充実	ア インターネットによる各種手続きの導入等利便性の向上	各種申込みや支払いなどの手続きについて、インターネットを用いた方法の導入拡大を検討し、利便性の向上に努めます。	継続	R4～	○	使用異動等の一部の手続きについては、平成29年12月からEメールによる受付を行っており、加えて令和7年5月からインターネット申請の受付を開始した。また、支払い手続きについては、令和3年4月からスマートフォン決済アプリによる支払いを開始した。
		イ 広報・ホームページ等による情報提供	水道事業に係るさまざまな情報を広報よねざわやホームページ、SNS等を活用して積極的に情報の提供を行います。	継続	R4～	○	広報よねざわ、市公式LINEにより水道事業に係る情報を提供した。
		ウ よねざわ上下水道だよりの発行	お客さまに水道事業をより理解していただくため、よねざわ上下水道だよりを発行します。	継続	R4～	○	4月、10月によねざわ上下水道だよりを発行した。
		エ 上下水道事業経営懇談会の開催	お客さまの意見、要望を事業運営に反映するため、上下水道事業経営懇談会を開催します。	継続	R4～	○	経営懇談会を3回開催し、上下水道事業の運営等について委員から意見をいただいた。
		オ インターネットへのPR映像掲載	「安心安全でおいしい水道水」をPRするため、PR映像を作成しインターネット上への掲載を行います。	新規	R4～	○	米沢市公式YouTube上で上下水道の業務内容を紹介した動画を公開した。
		カ 水道施設見学会の実施	バーチャル施設見学など、新型コロナ禍における事業のあり方を検討・実施します。	継続	R4～	○	米沢市公式ホームページ上でバーチャル施設見学ページを公開している。
		キ 市主催イベント出展による水道事業のPR	「オ インターネットへのPR映像掲載」事業として実施するなど、新型コロナ禍における事業のあり方を検討・実施します。	継続	R4～	○	インターネットを活用した事業を展開することとし、上記オの事業を実施した。
	⑬ 水資源の有効利用	ア 漏水調査の実施	毎年度計画的に配水管、給水管の漏水調査を実施します。	継続	R4～	○	前年度に引き続き、米沢市内の1/2の範囲について漏水調査を実施した。
		イ 漏水修繕の実施	漏水を発見したら迅速に修繕を行います。	継続	R4～	○	137件の漏水修理を実施した。
	⑭ 環境対策の推進	ア 浄水発生土の有効利用	浄水過程で生じる汚泥(浄水発生土)の有効利用を図ります。	継続	R4～	○	浄水発生土を埋戻し材として再利用を行った。
		イ 建設発生土のリサイクル	水道工事における建設発生土のリサイクルに取り組みます。	継続	R4～	○	建設発生土は改良センターでリサイクルを行った。
ウ 省エネ行動の実践		事務用品の再生品使用、休憩時間の消灯、室内温度の適正化などに取り組みます。	継続	R4～	○	事務用品は、環境物品を優先的に購入した。また、クールビズ、ウォームビズに取り組み、室内設定温度の適正化を図った。	

第5期米沢市水道事業中期経営計画 目標（中期指標）の達成状況

（単位：人、m³、百万円）

項目	目標、経営指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度			令和7年度	令和8年度
		実績値	実績値	目標値 (予算)	実績値	評価	目標値	目標値
需要予測	給水人口	76,303	75,279	76,037	73,245		75,376	74,720
	年間配水量	9,959,670	9,839,357	9,275,745	9,735,818		9,164,055	9,053,460
	1日平均配水量	27,287	26,883	25,413	26,673		25,107	24,804
収益的収支	営業収益	1,636	1,623	1,714	1,723		1,705	1,697
	営業費用	1,621	1,604	1,572	1,567		1,580	1,859
	経常損益	270	261	250	275		237	△ 48
	特別損益	13	0	0	0		△ 180	△ 270
	当年度純利益	283	262	250	275		57	△ 318
資本的収支	収入計	63	72	44	108		57	19
	支出計	601	1,309	858	1,061		754	607
	不足する額	538	1,237	814	953		697	588
	内部留保資金残高	5,105	4,554	4,446	4,406		4,189	3,354
設備投資計画	館山配水区受水施設整備事業	153	610	204	415		204	-
	重要施設耐震化事業	159	223	149	200		290	355
	配水管布設・布設替事業	75	339	100	202		100	100
	施設・機器・計器等整備事業	94	3	260	90		40	40
	営業設備	5	16	26	35		5	5
企業債残高	企業債残高	746	629	510	548		396	289
中期指標	有収率(%)	82.98	81.99	84.17	81.14	×	84.85	85.53
	総収支比率(%)	117.13	116.03	115.74	117.39	○	103.20	85.11
	営業収支比率(%)	100.93	101.21	108.98	109.99	○	107.97	91.32
	職員給与費対料金収入比率(%)	10.96	13.18	13.03	10.77	○	13.10	13.17
	収納率(%)	94.98	94.99	94.64	95.41	○	94.66	94.68

※評価は令和6年度米沢市公営企業会計決算審査意見書(米沢市監査委員)による。

- 有収率…総配水量に対する料金徴収の対象となった水量の割合。高いほうがよい。
- 総収支比率…総費用が総収益によってどの程度賄われているかを示す。100%以上が望ましい。
- 営業収支比率…営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかを示す。高いほどよい。
- 職員給与費対料金収入比率…料金収入に対する職員給与費の割合。低いほどよい。
- 収納率…使用された水量に係る料金のうち、実際に収納された料金の割合。高いほどよい。